避難訓練の実施

県や関係市町村、関係機関などと連携し、自治会、自主防災会、消防団、防災士会など多くの皆さんの協力を得て、実動避難・情報伝達・図上とさまざまな訓練を毎年実施しています。訓練を積み重ねていくことにより、課題を抽出し、経験を積み重ね、着実に対策を進めています。

災害対策本部訓練

広域避難訓練

入院患者や社会福祉施設入所者の避難訓練

国、県、全国の市町村、火山専門家、多くの関係機関と連携

富士山噴火に関しては市が単独でできることは限られ、関係機関との連携・協力が必要不可欠です。そのため市ではさまざまな事業や訓練、各種協議会・連絡会を通じ、国や県、近隣や県内はもちろん火山防災対策を行っていたり、噴火対応の経験がある全国の市町村、火山や防災の専門家、自衛隊・消防・警察などの関係機関と連携を深め、情報共有を図っています。

News

「改定版富士山ハザードマップ説明会」の動画を公開します!!

5月22日に市民会館で行った「改定版富士山ハザードマップ説明会」をYouTube「富士吉田市公式」チャンネルで公開します。説明会に参加できなかった方など、皆さんぜひご覧ください。

市ホームページ

撮影：株式会社CATV富士五湖

富士山ハザードマップが改定されました!! 〜富士山噴火を正しく知り、備えにつなげるために〜

国直轄の富士山火山噴火対策砂防事業

砂防とは土砂災害から命や暮らしを守るために行われる、堰堤の整備などの災害対策に関わる事業のことです。平成30年度から山梨県側でも着手され、国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所による富士山火山噴火緊急減災対策が行われています。

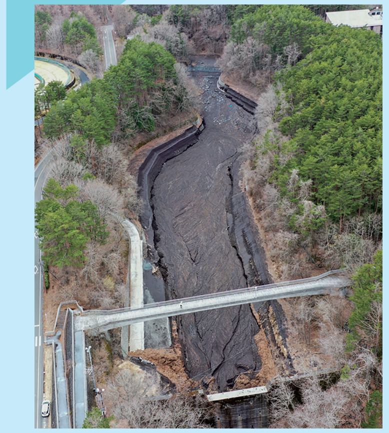
Topic

宮川堰堤工が土砂による被害を防止

3月21日の降雨により宮川で土砂が流れ出しましたが、富士北麓公園付近にある宮川堰堤工（砂防施設）が効果を発揮し、土砂を食い止めたため、下流の市街地や東富士五湖道路への被害を防ぐことができました。

堰堤は溶岩流・融雪型火山泥流・降灰後の土石流の火山現象発生時にも減災に効果を発揮します。

降雨前



降雨後

一般的な学校の25mプール12杯分に当たる約5,000㎥の土砂を捕促しました。

写真提供：
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

地域防災力向上のために 〜学校の授業などで出前講座を行っています〜

市では富士山噴火について理解を深め、備えにつなげていただくため、学校などで出前講座を行っています。噴火時に迅速な避難につなげてもらうことはもちろんですが、噴火はいつ起こるか分からず、数十年後になるかもしれません。その時に中心となる次代を担う子どもたちに、今から「火山」への認識を高めてもらうことが短期的・長期的にみても重要な対策となります。また学校などでの出前講座を継続することで、噴火や避難の知識がある方が増えていき、地域全体の防災力向上につながっていきます。

Topic

富士北稜高校の生徒が『富士山噴火防災カルタ』を制作中です!!

市が授業の講師として訪れた富士北稜高校の生徒たちが、授業の成果として、小学生向けに楽しみながら富士山噴火などを学ぶことができる「富士山噴火防災カルタ」を制作しています。